

大阪市立



もりのみや

森之宮 小学校

郵便番号

536-0025

所在地

城東区森之宮1丁目6-64

電話番号

(06)6967-7811

FAX

(06)6967-4661

校長名

山内 伸作



【概要】 昭和54年「大阪市立森之宮小学校」として開校する。校区内には、医療関係の施設やJR西日本・大阪メトロの建物があり、大阪市の都市機能を支える重要な役割を担う地域に学校がある。本年、校区内に大阪公立大学が開校予定である。

【校訓】 「こころとからだをきたえ たくましく」

【めざす子ども像】 「深く考える子・仲よく思いやりのある子・健康で明るい子」

【教育目標】 「子どもの思いに寄り添い、個に応じた可能性を育む教育を創造する」

【学年・学級編成】

1年	2年	3年1組	3年2組	4年	5年	6年	ひまわり	合計
28	26	19	20	26	36	26	(13)	177

【沿革】 昭和54年4月1日に開校、同月28日に開校式典を実施し、この日を創立記念日とした。平成30年11月には創立40周年記念式典を行った。本年度創立47年を迎える。本校の特色として、平成21年6月から運動場全面芝生化、通級による指導を自校通級のみならず他校通級も行っている。

運営に関する計画《年度目標》

(全市共通目標、☆は方策)

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 77%) 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 該当質問紙なし)

☆本校では、安全で安心な教育環境の実現に向け、児童が「学校に行くのが楽しい」と感じられる学校づくりを推進する。そのために、いじめを許さない集団づくりを基盤とし、「いじめについて考える日」や校長講話を通して、いじめ防止への意識を高める機会を継続的に設けるとともに、児童が主体的に関わる「なかま集会」などの活動を充実させ、互いを認め合う風土を育成する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 該当質問紙なし) 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 65%) 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7 84.9%)

☆本校では、児童一人ひとりが主体的・対話的に学び、誰一人取り残さない学力の向上を図るため、協働的な学習を重視した授業づくりを推進する。具体的には、話し合い活動を積極的に取り入れ、友達や教師の意見を取り入れながら自分の考えを深め、表現できる力の育成を図る。また、課題解決型の学習を充実させることで、学びを相互に関連付け、理解の深化を目指す。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 該当質問紙なし)

○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月18時間以下とする。

☆本校では、学びを支える教育環境の充実を図るため、教育DXの推進と働きやすい組織づくりに取り組む。まず、学習者用端末を効果的に活用し、一人ひとりの理解度や課題に応じた学習の設定や振り返り活動を充実させることで、個に応じた支援を実現する。これにより、児童が自分に合った学び方を実感し、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の概要

本校の体力テストの結果を見ると、男子の体力合計点は全国53.02、大阪市51.54に対して本校は46.06、女子は全国53.97、大阪市52.38に対して本校は49.75であり、男女ともに全国および大阪市の平均を下回っている。一方で、運動やスポーツが好きと回答した割合は男子では本校が100%と非常に高く、全国や大阪市（ともに93%台）を上回っているが、女子は83.6%であり全国・大阪市（85.0%）をやや下回っている。また、授業以外での運動時間については、男女ともに全国や大阪市の平均よりも短いという結果であった。以上のことから、本校の児童は運動に対する意欲は比較的高いものの、実際の体力や運動時間が不足しているという課題が見られる。特に女子の運動への関心や、運動時間の確保、体力向上に向けた取り組みが必要であることが明らかとなった。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

これまで本校では、体育の授業において運動量の確保を意識し、なわとび週間やかけあし週間などを通して体力づくりに取り組んできた。また、アンケート結果を踏まえ、運動が好きな児童を増やすために、児童が意欲的に体を動かす習慣づくりを工夫してきた。その結果、特に男子においては運動への関心が高い状況が見られる。一方で、全体として体力は全国や大阪市の平均を下回っており、運動時間の不足や、女子の運動への関心の低さ、持久力に関する課題（シャトルランなど）が明らかとなっている。今後は、個人差に応じて自分のペースで取り組める運動の工夫や、女子も含めた運動への意欲向上、日常的な運動時間の確保を図りながら、体力の向上につなげていくことが求められる。

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

森之宮小学校の6年生を対象とした令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果では、国語の正答率は67%、算数は60%と、いずれも全国平均および大阪市平均をやや上回る結果となった。一方で、理科は53%と全国平均・大阪市平均を下回っており、理科に課題が見られる。教科別の分析から、国語では漢字の書き取りや文章の要約など基礎的な力は身につけているが、目的や意図を踏まえて文章を読み取る力や、必要な情報を整理して活用する力に弱さが見られる。算数では図形領域で理解が進んでいる一方、説明や記述を伴う問題や、数量関係を活用する問題に課題があり、考えを言葉で表現する力の向上が求められる。理科については全体的に正答率が低く、特にエネルギーや電気・磁力に関する内容の理解に課題がある一方で、土地や水に関する分野では比較的良好な結果が見られる。質問紙調査からは、国語・算数・理科いずれの教科においても、授業内容の理解度は全国平均と同程度かそれ以上であり、学習内容の習得自体は進んでいることがうかがえる。また、学習内容を日常生活で活用しようとする意識も高い。しかし、結果との間に差が見られることから、理解した内容を実際の問題解決に活用する力のさらなる向上が課題である。総じて、本校は国語と算数では一定の成果が見られるものの、理科における基礎的理解の定着と、各教科に共通する「読み取る力」「考えを表現する力」「学習内容を活用する力」の向上が今後の重要な課題である。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

本校の学力調査の分析から、国語・算数においては基礎的・基本的な内容の理解が概ね定着しており、特に漢字の書き取りや要約、計算や図形の理解などに成果が見られる。また、質問紙調査からも、授業内容の理解度や学習内容の活用意識が高く、主体的に学習に取り組む姿勢が育っていることがうかがえる。一方で、国語では目的や意図に応じて情報を読み取ったり整理したりする力、算数では考え方を言葉や数で説明する力、理科では電気や磁力などの分野における理解に課題が見られる。さらに、いずれの教科においても、資料やグラフなどから必要な情報を正確に読み取り、それを基に考察・表現する力の向上が必要である。今後は、習得した知識を活用する力を高めるとともに、説明や表現を伴う学習活動を充実させ、より深い理解につなげていくことが求められる。

学校のアピールポイントなど

○ 縦割り班活動

小規模校の特性を生かし、本校の特色でもある縦割り活動をさまざまな場面でやっている。低学年は高学年の活動を見本とし、高学年は低学年を思いやる心を育成している。特に、高学年がリーダーシップを発揮し、グループをまとめる経験を通じて責任感や協調性を養うことにつながっている。学校全体の連帯感を強化し、よりよい学校環境を作っている。



○ 芝生の運動場

本校には、ひと際目を引く、大阪市一大きな芝生の運動場がある。子どもたちは、体育の時間はもちろんのこと、休み時間にもふかふかした芝生の上を走り回っている。大きなけがも少なく、安心して遊ぶことができる。放課後には野鳥の姿を見ることもでき、心にゆとりを与えている。

- ・互いに認め、高め合う集団
- ・リーダーシップと
- フォロアーシップの育成
- ・「あたりまえ」のことをあたりまえに行う力



学校案内図

（18ページもあわせてご覧ください）

